

◆活動日誌◆

- 令和7年
1月25日 自治区連会報(第64号)発行
2月7日 正副会長会議
3月25日 理事会
4月19日 水害対応避難訓練説明会
4月20日 小貝川ふれあい公園花畑除草作業参加
4月22日 永年勤続者表彰式及び下妻市自治区長連合会総会
5月30日 県自治会連合会理事会・総会(於:つくばみらい市)
6月1日 水害対応避難訓練参加
6月6日 役員会・広報編集委員会
9月10日 自治区連会報(第65号)発行
9月27日午後 市長との対話集会(千代川会場) ※予定
10月18日午前 市長との対話集会(下妻会場) ※予定
10月 小貝川ふれあい公園花畑種まき作業 ※予定
11月 正副会長会議・役員会・広報編集委員会 ※予定

水害対応避難訓練に参加しました

6月1日、市主催の水害対応避難訓練に参加しました。今年も鬼怒川の氾濫を想定し、各家庭各自自治会で避難の手順を確認しました。



今年は関東・東北豪雨による水害から10年の節目の年です。一人ひとりの命を守るために、今一度、家庭や地域の中で緊急時への備えを確認しましょう。

全国自治会連合会からの受賞、おめでとうございます

去年11月13日、福井県あわら市において全国自治会連合会全国大会が開催され、栗野前会長が全自連から表彰を受けました。3月25日、理事会の中で、理事の皆さまが出席する中、表彰状の伝達を行いました。おめでとうございます。

○表彰 ※敬称略
栗野 新也
(下妻市自治区長連合会 会長・福代地・神明代表区長10年)

編集後記

今年は太平洋戦争終戦後80年を迎えます。下妻市での太平洋戦争戦没者は1100名を上ると聞いています。今日の平和と繁栄の礎となった戦没者の尊い犠牲に思いをいたし、改めて弔慰の意を表します。

昨年、私は鹿児島県南九州市の知覧特攻平和会館を訪れました。そこでは、戦争末期の沖繩戦において特攻という人類史上類のない作戦で、爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料を展示しています。今回の訪問を通じて、特攻のような悲劇を生み出す戦争を二度と起こしてはならないと強く感じました。

私たちは、これらの史実を後世に正しく伝え、戦争の悲惨さ、平和・命の尊さを伝承し、二度と悲劇が繰り返されぬよう努めるべきです。現在、世界では、ロシアとウクライナの紛争やイスラエルとイラン・ハマスの対立などが続いており、これらの混乱は日本の戦時下を思い起こさせます。

最後に、戦後80年間にわたり平和に過ごせることを噛みしめ、国のために尊い命を捧げた戦没者に敬意を表します。そして、世界の争いが早期に収まり、戦争のない世界が実現することを心より願っています。
(広報編集委員長 笠島昇治)

令和7年度 自治区長連合会理事名簿

Table with columns: 役職名, 氏名, 代表区, 支部名. Lists council members and their details.

※幹事以下の役職は「地区順」「各支部からの選出名簿順」となっています。

自治区連会報

第65号
編集発行人
下妻市自治区長連合会
広報編集委員会

会長就任にあたり



下妻市自治区長連合会
会長 吉川 寛通

このたび、下妻市自治区長連合会会長という大役を拝命いたしました。長塚西部代表区の吉川寛通でございます。身に余る光栄とともに、その責任の重さを痛感しておりますが、これまで地域の皆様が築いてこられた歴史と信頼を大切にしながら、住民の皆さまの暮らしの向上と、より良い地域づくりのために誠心誠意努めてまいります。

自治区は、下妻市内においては自治会、町内会、常会などとも呼ばれています。市民一人ひとりが安全かつ安心して住み続けられるまちを実現するために、地域の課題解決に

取り組むという重要な役割を担っております。そして、本連合会は、自治区がその役割を果たすことができるよう、行政との連携を担うことが大きな役目だと考えています。さまざまな分野において、地域の声を行政に届ける架け橋としての機能をより一層強化してまいります。

私自身、行政との対話を積極的に進めたいと考えております。変化の多い社会においても、誰もが安心して暮らせる地域社会を築くために、力を尽くしてまいりますので、どうかこれからも変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

下妻市自治区長永年勤続者表彰

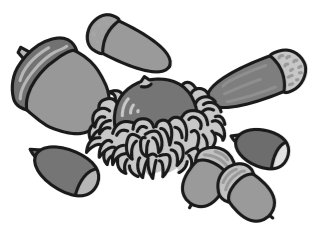
地域社会の発展と市民福祉の増進等に寄与した功績により、9名の区長の皆さまが、永年勤続者として表彰されました。おめでとうございます。

○表彰者 (5年以上勤続されている方) ※順不同・敬称略

- 武田 俊之 (長塚中央代表区長)
青木 利春 (下木戸第2代表区長・下木戸並木自治区長)
飯村 純男 (黒駒代表区長・黒駒第1自治区長)
木村 忠夫 (肘谷代表区長)
平間 辰夫 (相原山(塚の越)自治区長)
飯山 洋治 (福田南自治区長)
藤井 義文 (下木戸南風台自治区長)
宮本 喜光 (加養中自治区長)
星野 和俊 (東原住宅北自治区長)

自治会活動に参加しましょう!

自主防災組織を作りましょう!





自主防災と自治区活動 — 下妻支部 —

平成7年の阪神淡路大震災を教訓として発足した、陣屋・旭自主防災会では、災害に備え、テント・消火器・発電機・非常用トイレ・蓄電池等を会費と補助金等で整備してきました。

これらは、年1回の防災訓練時に点検・整備し、取り扱いのレベルアップをしています。また、防災訓練に合わせて参加者に非常食の体験試食、飲料水確保のための井戸水（2か所）の水質検査を実施しました。

今後も自治区の皆様と協働して自主防災活動を進めていきたいと思ひます。

国蝶オオムラサキの森 — 大宝支部 —

横根地先の小貝川沿岸にある森は、国蝶オオムラサキの貴重な生息地です。自然を守ろうとする「オオムラサキと森の文化の会」メンバー29名は月2回自然観察ゾーンの散策路除草や間伐作業、パトロール等を行い、今年で37年目になります。

森全体11haあり、そのうちオオムラサキが生息する森は約2.5haで、800mの散策路があります。オオムラサキが羽化する時期（6月末頃）には観察会も開催しています。

今後も自然に恵まれた豊かな森の保全活動に取り組んでいきたいと思ひます。



地域のコミュニケーションづくり — 騰波ノ江支部 —

下宮地区では自治会とは別に農村保全協議会を結成しており、住民の多くが参加しています。公民館の花壇や国道294号線の側道に菊の花を植え、開花時期には通りがかりの人の目を楽しませています。

また、自治会と合同で桜の花見会や秋の収穫祭等を行い、住民交流の場を提供しています。これにより高齢者から子どもまで顔を合わせる機会が増え、地域のコミュニケーション作りも出来ています。今後、この交流が長く続くよう皆で協力していきます。

黒駒不動尊祭礼 — 上妻支部 —

黒駒不動尊を紹介します。享保の頃鬼怒川を流れてきて当川岸についた。黒駒の人達が軽々ともち上げてお堂を造りお祀りした。耳不動尊として有名で奉納されたキリを耳に当てると耳の病が治るといふ。縁日は7月28日でその前夜には五穀豊穡家内安全を祈って雨乞い祭りが「散華散華六根清浄御湿八大金剛黒駒の不動明王帰命頂礼」の合唱と共に盛大に行われる。お堂では護摩焚き境内では水かけしながら激しく揉み歩く。



自治会活動に参加しましょう！

今泉東部地区の泥上げ — 総上支部 —

住みよい環境の維持のため、今泉東部では毎年、側溝及び排水路の泥上げを行っています。地域に住む住民で毎年6月に実施しています。下妻市からバキュームカーを借りて、3班体制で行います。

今年の作業では、捨てられたたばこの吸い殻や空き缶、ペットボトルが多く発見され驚きました。また泥上げにより、害虫や悪臭への対策になることに気づきました。

この地域の住みよさを維持するには、今回のような定期的な泥上げ作業が大切です。次回以降は若年者層の参加を増やし、地域を守ることの重要性を伝えたいです。



肘谷豆煎観世音 — 豊加美支部 —



御尊像は、堀の中より浮き揚げり、菩薩の姿と喜び、なき面照院の境内に移し、豆煎り持ちより供養した。是を念ずる女人には、重き難産も悩ますまいと御請願しました。毎年4月14日に供養をしています。

防災事業説明会に参加して — 高道祖支部 —

実際の災害の現場で30%以上の人が共助で救助されたそうです。

「近所のAさんの家は昼間は老人だけ」「最近ではBさんは外で見かけない」「Cさんはケガをして外出しづらい状況である」とか、近所の者しか分からない地域の状況があります。この情報をもとに、プロの救助隊が来る前に自分たちで出来る事を実施するのが、共助の一部です。

このことを再確認し、普段からの近所付き合いの重要性を改めて考えました。



手と手をとってつくる未来のまち — 千代川支部 —

蚕飼地区まちづくり推進委員会は、蚕飼地区の活性化を目指して、平成20年に設立されました。以降、花壇の維持管理やイルミネーションの設置など、「やすらぎの里しもつま」を拠点に活動を続けています。

活動のなかでも特に人気がある事業はクリスマス会です。過去には、消防はしご車試乗体験や鉄道模型展示、ビンゴ大会など、「リフレこかい」の内や外で楽しい企画が行われました。今年も開催を予定していますので、ぜひお越しください。



自主防災組織を作りましょう！